

白帯級

初級レベル

茶帯級

中級レベル

黒帯級

上級レベル

まなびかんニュース パソコン道場

まなパソコン道場

第85回

記載の画面は

Windows10
Office System 2016

白帯級

名前で計算 数式ラクラク♪

Excel

	A	B	C	D
1	7/4買い物		消費税	10%
2	商品名	単価	個数	税込金額
3	バナナ	100	1	
4	コーラ	100	2	
5	いちご	250	1	

図の様子から税込金額を計算する場合、「単価×個数×(1+消費税率)」となるのは言うまでもない。バナナの場合、数式上は、
 $=B3*C3*(1+D$1)$ と入力すればよい。下にドラッグすればコーラ・いちごも計算できる。

このとき、消費税率(セルD1)を常に参照するため、\$マークのついた絶対参照にしている。単純な表ならこれでも問題ないが、いちいち「\$マークのついた絶対参照」の入力は手間がかかる。そんな時は、セルに名前を付けて数式に利用すると、わかりやすくなる。この考え方は色々な数式で応用できるので、ぜひ覚えよう。

今回は単独セルや範囲に名前を付けるということを学習だ!

- セルD1を選択して、左上のボックス内に日本語で「消費税」と入力しENTER。これで名前付けは完了。そのまま、セルD1には0.1と入力。

消費税				
	A	B	C	D
1	7/4買い物		消費税	0.1
2	商品名	単価	個数	税込金額

この名前が「消費税」

- セルD1の「0.1」はちょっと分かりにくいので、メニューの[ホーム]→[数値]→[%]を選択。これで0.1ではなく、10%と表示される。

	B	C	D
		消費税	10%
	単価	個数	税込金額

- セルD3 に以下を入力してENTER。

$$=B3*C3*(1+消費税)$$

すると、ちゃんと計算されているのがわかる。セル番地ではなく、名前を使って値計算が可能になった!セルD3を下にドラッグすれば「コーラ・いちご」も計算できる。消費税という文字列は「絶対参照の値」として機能したワケだ。

D3	=B3*C3*(1+消費税)			
	A	B	C	D
1	7/4買い物		消費税	10%
2	商品名	単価	個数	税込金額
3	バナナ	100	1	110
4	コーラ	100	2	220
5	いちご	250	1	275

名前は、こんな使い方も!

例えば、ひとつの表内で担当者名・住所録などの範囲に名前をつけて、ドロップダウンリストや参照に応用することも可能だ。

	A	B	C
1	担当者名	郵便番号	住所
2	田中	238-0023	神奈川県横須賀市森崎
3	伊藤	238-0042	神奈川県横須賀市汐入町
4	小林	238-0022	神奈川県横須賀市公郷町
5	古田	238-0024	神奈川県横須賀市大矢部
6	大越	238-0033	神奈川県横須賀市阿部倉
7	石川	238-0016	神奈川県横須賀市深田台